SOWER

ソア＝種まく人
No.33
March 2009
財団法人
日本聖書協会

特集 プロテスタント宣教150年の道程

前編 前史から文語訳聖書完成まで

SOWER ソア No. 33

2009年3月1日発行
【年2回発行】

発行・財団法人 日本聖書協会

〒104-0061 東京都中央区銀座四丁目5-1 聖書館ビル
電話 03-3567-1988 FAX 03-3567-4451 振替 00160-2-18410

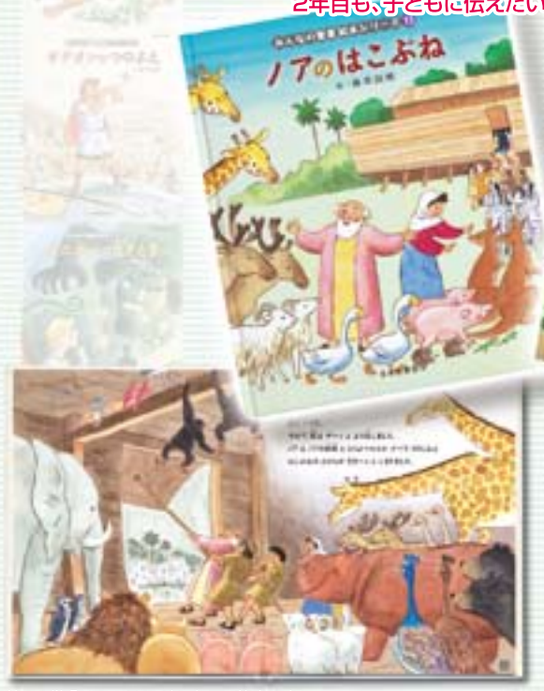
ますます、世界が広がる“みんなの聖書”

みんなの聖書 絵本シリーズ

「読み聞かせ」で楽しむ絵本シリーズ

いよいよ、2年目に突入です。

2008年4月よりはじまり、大好評の絵本シリーズ。毎月1冊、3年間、全36冊のオリジナル絵本聖書です。
日本人クリスチャン画家（旧約:藤本四郎氏、新約:杉田幸子氏）が、聖書の世界をあざやかに、温かく描きます。
2年目も、子どもに伝えたい聖書のお話が、いっぱいです。



第13巻「ノアのはこぶね」画・藤本四郎

第14巻「わたしについてきなさい～イエスさまと弟子たち～」画・杉田幸子

巻末には各場面に対応した
『聖書 新共同訳』本文を掲載しました。

定価（各巻）1,000円（税込） 2008年末現在 既刊10巻

サイズ：250×210mm、上製本、オールカラー30ページ（解説4ページ含む）

◆◆◆ お得な年間購読ご予約承ります。◆◆◆

2009年4月発行分（第13巻）から2010年3月発行分（第24巻）まで

1,000円×12ヶ月＝~~12,000円~~ ➡ **9,800円**（税込）

2009年5月末まで受付中!!

本誌16ページで発行予定と「音筆」のご紹介をしています!!

毎号巻末に掲載されている「聖書の世界、ちょっとくわしく」ページは、定期購読していただいているお母さんたちにも好評。大人も楽しめる、絵本聖書です。

■お求め、資料請求はお近くのキリスト教専門書店まで

財団法人
日本聖書協会
JAPAN BIBLE SOCIETY

〒104-0061 東京都中央区銀座4-5-1 聖書館ビル
TEL 03-3567-1987
FAX 03-3567-4451
http://www.bible.or.jp

携帯用のサイトです。

日本聖書協会は「日本プロテスタント宣教150周年記念」の働きに賛同、協力しています。

ホームページからもご注文いただけます（送料別途）

財団法人 日本聖書協会のホームページ
http://www.bible.or.jp

編集協力＝雑賀編集工房
デザイン＝株式会社 デザインコンビビア

印刷＝株式会社 高速オフセット

聖書図書館蔵書シリーズ──㉛

神天聖書
モリソン－ミルン訳

（複製版、シンガポール聖書協会　2007 年）
縦：17cm　横：12cm
旧約 17 冊　新約 4 冊

最初のプロテスタント漢訳旧新約聖書。ロンドン宣教会のロバート・モリソンがウィリアム・ミルンと協力して翻訳した。

モリソンは1807年に広東に到着し、東インド会社の通訳として禁教下の清国で伝道を開始した後、聖書の翻訳に着手した。使徒行伝から分冊を逐次刊行し、1813年に『耶穌基利士督我主救者新遺詔書』と題して新約聖書を出版した。

その後、ミルンと協力して旧約の翻訳を行い、1815年より分冊を逐次刊行し、1823年、完成した『旧遺詔書』と『新遺詔書』をあわせて、『神天聖書』としてマラッカで印刷刊行した。

モリソンとミルンの翻訳は、後続の聖書翻訳事業の土台となった。モリソンは中国におけるプロテスタント宣教の父とされている。

モリソンの中国での働きから200年を記念して、シンガポール聖書協会が2007年に複製を発行した。

新聖書の世界 32

写真／文 横山匡

パンフィリアの首府ペルゲ

バルナバとパウロが第一回伝道旅行に出かけた時のこと、キプロスを通って小アジアのパンフィリア州首府ペルゲに上陸。そこで助手として同行していたバルナバの従兄弟ヨハネ・マルコがエルサレムに逃げ帰ります。ペルゲは土着信仰が強いところで、伝道は困難を極めます。さらに内陸に歩を進めようとするパウロに、マルコは恐れをなしたのでしょうか。

イエスが捕らえられた後、一人の若者がついて行き、捕まえられそうになると、亜麻布を脱ぎ捨て裸で逃げます。この若者がマルコではないかと言われています。

第二回伝道旅行の出発に際して、バルナバはもう一度マルコを同行させようとしますが、パウロは怒って別行動をとります。後年、彼はパウロから「協力者」、「わたしの務めをよく助けてくれる」と言われるようになります。

若き日にパウロのもとから逃げ出したことは、マルコには取り返しのつかない痛恨事だったでしょう。悔い砕かれて主の懐に立ち帰り、御用に役立つ者と変わっていった姿が窺えます。マルコによる福音書を書き残したのがこのヨハネ・マルコだと伝えられています。

巻頭聖句

「あなたがたの体は、
神からいただいた聖霊が宿ってくださる神殿であり、
……あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。
だから、自分の体で神の栄光を現しなさい。」

（コリントの信徒への手紙一　6章19、20節）

ある時祈っていると、強烈にこの聖言（みことば）が迫ってきた。
その瞬間、自分のあり方が根本的に誤っていたことに気づき、愕然とした。
それまでの自分は、あくまでも自分の体も人生も、すべてが自分自身のものだと考え、
どこまでも自己に執着していたからである。
なんという傲慢不遜、我執の塊のような人間だったことか。
そこで、ついにこう祈ることができた。
「主よ、今こそ全身全霊、全生涯をあなたにお献げします。
どうか主をお宿しする聖霊の宮として、御自身の意のままに、
神の栄光を現す体としてお用いください!」と。
これが小僕の、伝道者への生涯の転機となった。

峯野龍弘
みねの　たつひろ
ウェスレアン・ホーリネス教団淀橋教会　主管牧師

表紙の言葉
北海道、函館の名所として有名な八幡坂。急な坂道の上からは、湾に停泊する船や、遠くかすんだ町並みを見ることができ、函館らしい情緒を感じます。今回はその夜景バージョン。函館山から見る函館の夜景も素敵ですが、その帰り道には足をのばしてみてはいかがでしょうか？
（絵・文＝佐藤百合子）

CONTENTS

Sower
No.33
2009

2 ソア33号発行によせて　BS NEWS　渡部　信
3 特集 プロテスタント宣教150年の道程 前編　前史から文語訳聖書完成まで　編集部
8 聖書セミナー⑪　澤田豊成　現実の中で信仰を生きる
10 人物と聖書⑬　鈴木範久　長谷川保と聖書
12 エッセー㉚　頼所　正　日本宣教の歴史と現在を想う
14 Bible Guide　誰でも聴いて読めるギリシア語聖書、他
17 JBS情報　教会の幅広いご協力を求めて
18 日本プロテスタント宣教150周年記念大会のご案内
20 手話訳聖書支援パートナーを求めています
21 聖書図書館蔵書シリーズ――㉛　神天聖書 モリソン-ミルン訳

Bible Verse & Essay by Tatsuhiro Mineno

ソア33号発行によせて

会報誌『SOWER』ソア（＝種まく人）33号をお届けいたします。

財団法人　日本聖書協会
総主事　**渡部　信**

2009年になり、まさに政治も経済も激動の時代を迎えています。このような時に、日本のプロテスタント諸教派が一致協力して「日本プロテスタント宣教150周年記念大会」を開催することになったのは、神様の計り知れない導きであり、たいへん意義深いことだと思います。キリスト教禁制が解かれる以前から海外の宣教師が来日し、今日のキリスト教主義学校、教会、社会福祉施設の基礎を築いてくれたことも感謝をもって覚えたいと思います。

また日本聖書協会も、1875年から海外の聖書協会の協力により翻訳活動を始め、1887年には日本語初の旧新約聖書が完成し、日本プロテスタント諸教会と共に歩んでまいりました。このたびは日本聖書協会も、「日本プロテスタント宣教150周年記念大会」の事務局の働きを通してプロテスタント諸教会に仕えていきたいと思います。

一方でカトリック教会においては昨年10月にシノドス（世界代表司教会議）が開催され、教皇ベネディクト16世より、「信徒がさらに聖書に親しむように」との声明が出されました。これに伴い、カトリック教会と聖書協会世界連盟とで信徒向けの「レクティオ・ディヴィナで味わう主日の福音・B年」を合同で編集し、2008年の待降節から52週にわたって読まれる聖書のテキストが世界中のカトリック教会で使われることとなりました。日本聖書協会でも早速、日本語に翻訳し出版しましたが、これは画期的なことだと思います。

2000年の間変わることのない「神様の約束」＝聖書こそ、私たちの不動の確信の土台だと思います。そして、そこから新しいものが生まれ出る希望も、また「神様の約束」＝聖書だと思います。どうぞこの時を生かして、すべての教派が一致して、私たちが「神の民」であること、「神の家族」であることを、日本の皆様に証ししてまいりましょう。主の恵みと祝福をお祈りいたします。

BS NEWS

「メキシコ聖書協会とペルー聖書協会を訪れて」

渡部　信　日本聖書協会総主事　わたべ　まこと

スペイン語は英語よりも多くの人々が使用している国際言語です。しかも、日本から遠いこれらの国々も、私たちと全く別な文化と社会生活をもって暮らし、彼ら自身の世界がそこにあります。ところが驚いたことに、日本のマンガ文化がスペイン語圏の若者の心を捉え、日本語を学ぶきっかけになっているというのです。メキシコ聖書協会総主事の娘さんが大の日本のマンガ・ファンであり、またペルー聖書協会では、ペルー人の漫画家による、日本のアニメタッチのマンガ聖書が出版されていたことに、さらに驚きました。日本聖書協会の「マンガ聖書」も負けてはおられないと思いました。

メキシコ聖書協会の皆さんと

ペルー聖書協会
発行のマンガ聖書

ペリー横浜上陸の図　横浜開港資料館所蔵

特集

プロテスタント宣教150年の道程

前編　前史から文語訳聖書完成まで

編集部

1859年、長崎と横浜に最初のプロテスタント宣教師が到着しました。そこから数えて、今年2009年はプロテスタント宣教150年を祝う記念すべき年です。その歴史を、何人かの宣教師による聖書翻訳の働きを中心に、二回に分けて振り返ります。

1　プロテスタント宣教前史

東洋宣教の背景

一五世紀から一七世紀中頃にかけて、スペイン、ポルトガルといったカトリック教国が、勢力拡大を目的として、世界各地に進出し隆盛を誇った。

一七世紀後半になると、英国、オランダなどプロテスタント諸国が優勢となる。特に英国は、一八世紀以降いち早く産業革命を成し遂げ、勢力圏拡大の可能性を海外に求めた。そうした中、一九世紀には東洋宣教の機運が高まり、各国で海外宣教団体が設立され、インド、東南アジア、さらには東アジア、中国方面へと宣教師たちが乗り出していった。

聖書協会設立と漢訳聖書

一八〇四年、世界最初の聖書翻訳・頒布を目的とした組織、英国聖書協会（BFBS）がロンドンに設立されたのは、そうした時代背景と関係が深い。設立間もない英国聖書協会でまず検討されたのは中国語（漢訳）聖書の出版であり、モリソン訳『新遺詔書』（一八一三年）もそのため刊行された。漢訳聖書は、モリソン・ミルン訳『神天聖書』（一二三年）や、ブリッジマン・カルバートソンによる『新約全書』（六一年）、『旧約全書』（六三年）など、数種類が刊

東街道金川駅略図（部分）中央の成仏寺には「亜 ヘイボン ブラォン」「亜 ゴーブル 宇之助」とある 横浜開港資料館所蔵

ギュツラフ

ベッテルハイム

フルベッキ

C.ウイリアムズ

行されている。

漢訳聖書は日本においても漢語を解する明治期の知識人たちに広く読まれ、のちの文語訳聖書（明治訳）の参考にもされた。

やがて日本でも、一八七五（明治八）年のスコットランド聖書協会、翌年の米国、英国の三聖書協会の支社設置により、日本での聖書協会の働きが開始されている。

ギュツラフとベッテルハイム

一九世紀、特に日本宣教の熱意を持って聖書翻訳史に名を刻んだ二人の人物がいる。一人はドイツ人カール・ギュツラフ。彼はオランダ宣教会派遣の宣教師であり、日本人漂流民の協力を得て、プロテスタントによる初めての和訳聖書『約翰（ヨハネ）福音之伝』をマカオで翻訳し、一八三七年にシンガポールで出版した。このギュツラフ訳は、現存する最古の和訳聖書である。

もう一人はバーナード・ベッテルハイム。彼はユダヤ系のハンガリー人であり、英国海軍琉球伝道会より派遣され、一八四六年五月一日、那覇に上陸した。当時の琉球は薩摩藩の支配を受けており鎖国下にあった。彼は厳しい監視と迫害に遭いながらも八年間滞在し、琉球語訳の『路加（ルカ）伝福音書』、『約翰（ヨハネ）伝福音書』、『聖差（使徒）言行伝』、『保羅寄羅馬人書』を五五年に、漢和対訳『路加伝福音書』を五八年と、まとまった巻数を訳了し、香港で刊行している。

幕末から明治期の宣教師たちの先触れとして彼らの果たした役割は大きい。

2 開国初期の宣教師たち

開国への経緯

一八五三年、米国東インド艦隊司令長官マシュー・ペリー率いる軍艦四隻が浦賀に来航、江戸幕府に開国を迫る。絶対的な武力を前に、幕府はしぶしぶ日米和親条約（五四年）を締結する。さらに日本との本格的な交易を望む米国は、総領事としてタウンゼント・ハリスを交渉にあたらせた。ハリスは五七年に欧米人としては初めて将軍に謁見、翌五八年に日米修好通商条約が締結された。これにより二百年にわたる鎖国が解かれる。次いで五九年以降、条約により五港（横浜、函館、長崎、新潟、神戸）が開かれた。

長崎に上陸した宣教師たち ――リギンズ、ウィリアムズ、フルベッキ

一八五九年、開国と同時に続々と宣教師が来日する。先行したのは、五月に長崎へやって来た米国監督教会（聖公会）のジョン・リギンズ、チャニング・ウィリアムズ、同年一一月に米国オランダ改革派教会のグイド・フルベッキも上陸している。ウィリアムズは「三要文」（十戒、使徒信条、主の祈り）を六一年に和訳し、この年、マタイ福音書の翻訳に着手している。なお、長崎での八年間の宣教活動を終え一時帰国したウィリアムズは、明治維新後に再来日し、七四年、築地に現在の立教大学の前身となる「立教学校」を開校した。

成仏寺に滞在した宣教師と家族たち
中央がヘボン、その左隣がゴーブル、左端の少女の肩に手をかけているのがブラウン
横浜開港資料館所蔵

ヘボン

S. R. ブラウン

「目で見る宣教100年史」より

ゴーブル

ゴーブル訳『摩太福音書』

神奈川・成仏寺の外国宣教師宿舎跡 1959年に開港100年を記念して建てられた

神奈川成仏寺の宣教師たち ――ヘボン、ブラウン、ゴーブル

一八五九年一〇月、ウィリアムズらに遅れること五カ月、米国長老教会のジェームス・ヘボン、一一月に米国オランダ改革派教会のS・R・ブラウン、さらに翌六〇年には米国バプテスト教会のジョナサン・ゴーブルが神奈川に上陸した。ヘボンは、ヘボン式ローマ字を考案したり、日本初の和英辞書『和英語林集成』を出版したことなどで知られている。彼ら三人は共に神奈川の成仏寺に住み、最初期の聖書翻訳に取り組んだ。二年あまりで成仏寺から横浜の居留地に移ることになるが、この間、互いに影響し合い、聖書翻訳の励みとなった。

3 日本で最初に出版された聖書

ヘボン・ブラウン訳『馬可伝』、『約翰伝』、『馬太伝福音書』

一八六三年、ヘボン、ブラウンにより、四福音書および創世記、出エジプト記の一部の翻訳が完了した。また同年、ヘボンはキリスト教教育を目指して横浜にヘボン塾を開校、のちにプロテスタント各派学校と統合して設立した明治学院の初代総理にも就任している。

一八六七年のブラウン宅の失火により大半の翻訳原稿を失うも、七二年に『馬可（マルコ）伝』、『約翰（ヨハネ）伝』、翌年、『馬太（マタイ）伝』を出版している。奥野昌綱が文章を推敲し、版木を稲葉治兵衛が作成した。なお、このヨハネ写本などを所持していたことにより、一八七一年に神戸で逮捕され、翌年獄死した市川栄之助は、プロテスタント最初の殉教者とされている。

最初に出版されたゴーブル訳『摩太福音書』

成仏寺に滞在した三人のうち、ゴーブルはすでに一八五三年、ペリーの日本遠征に志願し水兵として日本に上陸していた。途中寄港した那覇でベッテルハイムと親交を持ったことで聖書翻訳の志を固め、いったん帰国して神学を修めたのち、一八六〇年に再来日したのである。実際に日本で出版された聖書としては、ゴーブルの『摩太（マタイ）福音書』（七一年）が最も古い。彼は極貧の中にありつつも出版費用を自らまかなっている。版木刷りのこの聖書の特徴は、口語に近い平仮名分かち書きであり、民衆への宣教を目指した彼の使命感をしのばせる。しかし、い

関係略年表

室町時代	1549	ザビエル鹿児島渡来
	1573	室町幕府滅亡
安土・桃山時代	1582	少年遣欧使節長崎出帆 本能寺の変
	1587	秀吉伴天連追放令
	1597	長崎26聖人殉教
	1600	関ヶ原の戦
江戸時代	1637	島原の乱
	1639	第5次鎖国令
	1804	英国聖書協会（BFBS）設立／天草崩れ
	1813	モリソン『新遺詔書』刊
	1823	モリソン・ミルン『神天聖書』刊
	1837	ギュツラフ訳『約翰福音之伝』刊 モリソン号事件
	1840	アヘン戦争
	1846	ベッテルハイム那覇上陸
	1853	ペリー浦賀来航
	1854	日米和親条約締結
	1855	ベッテルハイム琉球語訳『路加伝福音書』『約翰伝福音書』『聖差言行伝』『保羅寄羅馬人書』刊
	1856	ハリス下田上陸
	1858	日米修好通商条約締結 安政の大獄
	1859	横浜、函館、長崎、開港／リギンズ、ウィリアムズ、フルベッキ、ヘボン、S. R.ブラウン、シモンズ来日
	1860	桜田門外の変 ゴーブル来日
	1861	ブリッジマン・カルバートソン『新約全書』刊 正教会ニコライ来日
	1862	生麦事件／横浜天主堂建立／ヘボン開塾
	1863	ブリッジマン・カルバートソン『旧約全書』刊 薩英戦争
	1865	大浦天主堂建立
	1867	浦上4番崩れ／大政奉還
明治時代	1868	明治維新
	1871	岩倉使節団欧米視察へ ゴーブル訳『摩太福音書』刊
	1872	第1回宣教師会議　ヘボン・ブラウン訳『馬可伝』『約翰伝』刊 日本基督公会設立
	1873	岩倉使節団帰国／切支丹禁制高札撤去／ヘボン・ブラウン訳『馬太伝』刊／S. R.ブラウン開塾 N.ブラウン来日
	1874	築地に立教学校設立
	1875	北英国聖書会社設立
	1876	米国聖書会社、大英国聖書会社設立
	1879	N.ブラウン訳『志無也久世無志与』刊
	1880	翻訳委員社中訳『新約全書』完成／S. R.ブラウン永眠
	1887	聖書翻訳出版常置委員会『旧約全書』完成（文語訳全巻完成）
	1897	バチェラー、アイヌ語訳『新約全書』刊

1862年横浜居留地に建てられた初のカトリック教会
横浜天主堂の浮世絵　横浜開港資料館所蔵

横浜居留地のヘボン邸　横浜開港資料館所蔵

4 切支丹禁制からキリスト教解禁へ

生麦事件とヘボン

幕末の日本では開国反対の空気が社会一般にくすぶっており、宣教師も含めて外国人は命の危険と隣り合わせであった。ハリスの秘書兼通訳であったヒュースケンが攘夷派の薩摩藩士にまだキリスト教禁制下にあったので、聖書を渡しても、みな官憲に没収されてしまい、日本人キリスト者を生み出すことは困難であった。

日本で最初のプロテスタント教会

なお、宣教師たちはみな、一八六三年に神奈川から横浜の居留地に移り住んだ。その二年前に来日した米国オランダ改革派教会のジェームス・バラは住居で英語を教えるなどしたが、のちに小さな石造りの会堂を建て（六八年）、それがプロテスタント教会第一号、日本基督公会（七二年三月）となり、現在の横浜海岸教会となった。禁教下にあったが、設立したその日、九名の日本人が洗礼を受けている。

またブラウンは、一八七三年に山手二一一番の自宅に最初の神学教育機関となるブラウン塾を開いた。前出のヘボン塾、公会とともに、この頃の長老派、改革派の宣教師たちの活動が横浜バンドと称される。

より暗殺されたのは一八六一年のことで、翌六二年には、薩摩藩の大名行列を横切った英国人一行が、神奈川近くの生麦で殺傷される事件も起こっている。この処理をめぐり、薩英戦争（一六三年）が勃発する。医者であったヘボンは、負傷者が運び込まれたアメリカ領事館（本覚寺）に駆けつけ、治療にあたっている。なお、ヘボン自身命を狙われ、妻クララも暴漢に襲われたこともあった。殺伐とした時代にあって、危険を顧みず日本宣教に奉仕したヘボンをはじめとする宣教師たちの覚悟を思わされる。

禁制高札の撤廃

江戸末期から明治初期にかけては、密告、嫌疑により逮捕されるなど、キリスト教への迫害は続いていた。一八六七年より浦上四番崩れといわれるキリシタン弾圧が長崎に起こり、三三九四名が流罪になった。六七年の大政奉還、翌年の明治維新により、江戸から明治へと時代が移るが、依然、政府はキリスト教を弾圧した。これにより各国公使は度重なる抗議を行っている。

文語訳『旧新約全書』

ネイサン・ブラウン

かつての日本基督公会の場所に建つ横浜海岸教会

『志無也久世無志与』

その頃、岩倉具視使節団の欧米訪問（一八七一～七三）が行われ、この機会を経て、不平等条約の改正の障害となっている現状が省みられ、七三年二月にようやく切支丹禁制高札は撤去された。秀吉の禁教以来、信仰の自由を取り戻すまで実に二八六年もの歳月を要したことになる。

5 プロテスタント共同翻訳へ

ネイサン・ブラウン『志無也久世無志与』

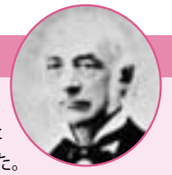
ネイサン・ブラウンは、ゴーブルと同じく米国バプテスト教会の宣教師で、長年、インド・アッサム地方の宣教にあたったのち、一八七三年に六五歳で来日した。当初は聖書翻訳委員社中にも参加、協力するが、のちに訳語の問題で委員会を脱退して、独自に翻訳作業を進めた。委員社中訳より一年先行して『志無也久世無志与』を七九年に刊行する。これが日本で最初に出版された新約聖書となった。この聖書は、ギリシア語原典に忠実であること、ゴーブルを継承するように本文を平仮名―草がな連続体としていることに特徴がある。

「文語訳聖書」の完成

高札撤廃前年の一八七二年九月二〇日、日本における在日各宣教団体合同の第一回宣教師会議が横浜居留地のヘボン宅にて開かれた。この会議では、新約聖書の共同翻訳を行うこと、教派によらない公会主義をとることが確認され、プロテスタント史上画期的なものとなった。

ここで一八七四（明治七）年、聖書翻訳委員社中がS・R・ブラウンを委員長として発足する。新約は順次分冊で刊行され、八〇年に『新約全書』が刊行された。その後、ヘボンを委員長とする聖書翻訳出版常置委員会が新たに組織され、『旧約全書』が完成。八七年、その後長きにわたって読み継がれる文語訳聖書がようやく全巻完成に至ったのであった。（以下次号）

ヘボンの医者としての素顔



宣教師たちの多くは実学にも長けていた。とりわけヘボンは優れた医者であり、成仏寺に滞在していた1861年4月頃、近くの宗興寺を借りて施療所を開いた。当時の民衆は貧しく、衛生状態が悪かったため、肺結核、眼病といった病気が珍しくなかった。施療所は同年9月、ヘボンの安全を理由に幕府から閉鎖命令が出される。民衆への感化を嫌ったのであろう。ヘボンはわずか5カ月の間に延べ3,500人もの患者を診察し、人々から大いに感謝された。しかも治療費を一切受け取らなかったという。

また、ある時、定治郎という使用人が、雇い始めてわずか2週間で「暇をくれ」という。「なぜか」と問うと、自分は某藩の武士で、夷人の内情を探り、隙あらば斬ってやろうとして入り込んだが、ヘボンが親切で仁義道徳の人であることが分かり、自分の誤りに気づいたからだという。これは本国の宣教会本部に宛て送った手紙に報告されている。いずれも、ヘボンの高潔な人柄を表すエピソードである。

現実の中で信仰を生きる

澤田豊成
さわだ　とよなり
聖パウロ修道会司祭

愛のうちに信仰を生きる
——フィレモンへの手紙

フィレモンへの手紙は、何らかの理由で着いたオネシモを、フィレモンのもとへたどり返すにあたって、パウロが記した手紙である。パウロは、フィレモンとの信仰による深いきずなを強調する。「わたし」という一人称単数（パウロ）と、「あなた」という二人称単数（フィレモン）の代名詞が多用され、これらが「兄弟」「仲間」「愛」「喜び」「慰め」などといった用語と結びつけられている。典型的な表現は、「あなたの内臓」（七節）、「わたしの内臓」（一二節、二〇節）であろう。新共同訳で「あなたの愛」「わたしの心」と訳されているこの表現は、動詞化されると、通常「あわれに思う」と訳される表現になる。対象をもはや自分の外にある者としてではなく、自分の内部、しかも自分を生かす臓器としてとらえたときに生じる関係や生き方を表している。パウロはこれらの表現をオネシモにあてはめることによって、オネシモもパウロやフィレモンと同じようにキリストによる新しいアイデンティティーを身につけたこと（「もはや……奴隷以上の者、つまり愛する兄弟」一六節）、その結果としてフィレモンとオネシモの関係も新しいものになったことを理解させようとする。

結局、パウロは具体的な命令を書き記してはいない。キリスト者の生き方、それは命じられたおきてを果たせばよいというものではない。キリスト者は、キリスト者としてふさわしい生き方に向けて絶えず駆り立てられていく。だから、キリスト者であることの意味を生き生きと思い起こさせるだけで十分なのである。「（あなたは）わたしが言う以上のことさえもしてくれるでしょう」（二一節）。

希望と忍耐をもって信仰を生きる
——テサロニケの信徒への手紙一

二テサロニケ書があてられた共同体は、苦難と迫害の中を生きている。それも、偶発的な抑圧ではなく、組織的で継続的な迫害であることが推測される。終わりの日に、「あなたがたを苦しめている者」が「苦しみをもって報い（られる）」、「刑罰を受ける」（一・六―九参照）という視点は、厳しい迫害の中で希望を持ち続けることが難しい共同体に向けた励ましのメッセージの典型である。しかし、キリスト者のメッセージは本来、「敵を愛し、迫害する者のために祈る」（マタ五・四四、またロマ一二・一四参照）ことであり、二テサロニケ書の視点は特殊な状況を前提にしていることを思い起こしておきたい。

本書では、「主の日は既に来てしまったかのように言う者」（二・二）によって教会が動揺しているという問題が取り上げられている。この点について本書は、終末に至るまでの順序を描く。著者の意図は、このような描写をとおして、キリスト者が「すぐに動揺して分別を無くしたり、慌てふためいたりしないで」（二・二）、「しっかり立って、……教えを固く守り続け」（二・一五）るよう励ますことにある。

三章六節以降に述べられる、怠惰な生活をして働かない人々への警告は、唐突な印象を与える。しかし、これらの人が前述の「主の日は既に来てしまったかのように言う者」と同じであると考えるなら、彼らは、すでに救いが完成したのだから苦労して働く必要などないと主張していたのであろう。ここでは、一般論として働くことの大切さを説いているわけではない。周囲の状況に揺れてしまい、本来なすべき働きに専念しない生き方を批判しているのである。ここでも、著者の勧めは「落ち着いて」仕事をしなさいというものである（三・一二）。本書は、迫害のような厳しい状況下にあっても、惑わされずに、希望と堅忍をもって固く立ち、落ち着いて神にかなった生活を続けることを、具体的な問題を取り上げながら主張している。

信仰の一貫性——ヤコブの手紙

ヤコブの手紙は、パウロとの対比で、信仰よりも行いを重視していると見られがちである。たしかに、二章一四―二六節では、パウロの信仰義認の考え方（あるいは、その行き過ぎた適用）への批判が見られる。しかし、そこでも対比されているのは、信仰と行いではなく、行いを伴う信仰と行いを伴わない信仰であって、信仰は前提とされている。まして、ほかの箇所では、信仰は非常に肯定的にとらえられている。ヤコブ書は、揺るぎない知恵は神から与えられるものであって（一・五、一七、三・一七など）、逆に上から出たものではない地上の知恵が混乱や悪い行いを生み出すこと（三・一五―一六）を知っている。だから、信仰をもって神に願い求め（一・六）、まず神の言葉を聞かなければならない（一・一九―二一）。しかしヤコブ書は、次の段階として、いったん受容された神からの知恵、言葉、信仰が行いにつながっているかどうかを問題にするのである。信仰は必要不可欠なもの。しかし、その信仰が神からのものであれば、必ず行いに結びつく一貫したもの。だから、行いが伴わなければ、結局は、信じていないことを示している。いずれにせよ、神から人間の内面へ、そしてそれが外的行いへと矛盾することなく一貫して流れていることの大切さ。これがヤコブの手紙の中心メッセージであろう。パウロとの関係をどう理解するにせよ、ヤコブ書の批判的意図を尊重しつつも、ヤコブ書全体の中でそのメッセージをとらえなおしていく努力が重要であろう。

※本稿は、二〇〇八年一〇月から一一月にかけて開かれた「第一九回秋の聖書セミナー」の講義内容をもとに、全体のまとめとしてご執筆いただきました。

福祉タウンを築いた

長谷川保と聖書

鈴木範久 すずき のりひさ 立教大学名誉教授

自伝的著書

聖隷福祉事業団

浜松の三方原というと、古くは武田信玄と徳川家康の古戦場として名高い。近代に入ると、日本陸軍の飛行隊が置かれていた。それが今や聖隷福祉事業団の一大福祉タウンと化している。聖隷三方原病院を中心に、浜名湖エデンの園、浜松ゆうゆうの里、聖隷厚生園、聖隷クリストファー大学などが建ち並んでいる。往時とくらべると、まさに「剣をうちかへて鋤となし」た光景である。それには、長谷川保の長い年月をかけた労苦があった。一九〇三（明治三六）年、浜松に生まれた長谷川保は、ブラジル行きを志し上京、日本力行会の海外学校でクリーニング業を学ぶ。浜松に戻った長谷川は、二六（大正一五）年、大野篁二とともに聖隷社洗濯部を創設した。聖隷の名は、聖書のヨハネ伝一三章一四節に記されているキリストの言葉「なんぢらの足を洗ふべきなり」（文語訳）によった。洗濯部の上に聖隷社を冠したわけは、洗濯業の利益でもって社会事業をするためだった。

一九三〇（昭和五）年、結核を病み療養先を次々追われていた一人の青年を小屋にひきとった。やがて別の地にやはり小屋を建ててベテル・ホーム（主の家）と名づけた。ここでも結核を嫌う住民の反対に出会う。ようやく三方原に県有林の払い下げを受け、三七（昭和一二）年、そこに移って聖隷保養農園を名乗った。戦後、みずから社会党の衆議院議員となり、日本の社会福祉事業の推進に尽力する。七六（昭和五一）年、聖隷三方原総合病院が認可され、八二年には、淀川キリスト教病院とならぶ日本最初のホスピスが設けられた。

エックとアポー

話をもとに戻すと、上京して学んだ日本力行会は、キリスト信徒の島貫兵太夫が始めたものである。そこには力行教会があったが、日曜の礼拝は朝の九時半には終わり、その後、生徒たちは町に出かけて別の説教を聞いた。長谷川は、神田の救世軍本営で山室軍平、大手町の大日本私立衛生会講堂で内村鑑三の話をよく聞いた。そのうち、内村鑑三の聖書研究会のみに出席するようになる。ロマ書の連続講義があった時分とされるから、一九二一年から二二年にかけての頃である。

あるとき、郷里の大伯父が危篤になったとの知らせに接し、急遽、浜松に帰ることになる。大伯父は幼い母を育てた恩人である。聖書と讃美歌のほか、大伯父のために内村鑑三の著書『復活と来世』を入手、これらをリュックサックに入れて、徒歩で浜松に向かった。ところが、たどりついたときには、すでに大伯父は世を去ってしまっていた。

大伯父のために購入してきた『復活と来世』を代わって自分が読みはじめる。このなかで内村が「エックとアポー」と題した文章に出会い、ひきつけられた。キリストは十字架につけられる前夜、「父よ、この時より我を救ひ給へ」（ヨハネ伝一二章二七節、文語訳）と祈る。内村は、ここで用いられているギリシア語の「エック」は、同じ「から」という意味でも「アポー」と異なり、ただの苦難から免れるという意味でなく、いったん苦難のなかに入り、そのなかから救い出すという意味であるので、キリストは単に死から逃れることを祈ったのでなく、死に付されてのちの復活を祈ったのだと説く。ここに至り、長谷川は突然、人間は死によってすべて終わるのでなく、死を突き破る生命を授かった存在であることを覚る。

愛用の聖書と書き込み

内村鑑三著『復活と来世』

愛用した広縁聖書

人生に大きな転機の与えられた長谷川は、それ以来、「聖書を真剣に学び、聖書に生きるもの」になったという（「私の転機」、『朝日新聞』一九八〇年九月三日）。それ以後、長谷川は愛用の聖書を何冊も手にしたにちがいない。そのなかでも、長谷川の聖書の読みが徹底的なものであったことのわかる聖書が、聖隷の資料館に遺されている。長谷川は、十分な書き込みができるように広縁聖書を買い求めていた。遺された聖書には、その広い余白が狭く感じられるほど、ぎっしりと原典ギリシア語の文字や意味が書き込まれていた。それは表紙などが取れてなくなっている聖書であるが、口語訳の『広縁新約聖書・詩篇』であろう。

とりわけ長谷川の好んだ聖句は、「主は、わたしたちのためにいのちを捨てて下さった。それによって、わたしたちは愛ということを知った。それゆえに、わたしたちもまた、兄弟のためにいのちを捨てるべきである」（ヨハネの第一の手紙三章一六節、口語訳）であった（長谷川保『老いと死をみとる』、柏樹社、一九八二年）。

エッセー ㉚

日本宣教の歴史と現在を想う

頓所 正

宣教との関連で、救いのこと、献身、日本ナザレン教団宣教一〇〇周年、そして日本プロテスタント宣教一五〇周年記念のことなどを書かせていただきたい。

私が初めて聖書に触れたのは、日本聖書協会発行の、英語訳（RSV）と口語訳の対照新約聖書であった。福音に初めて触れたのは、キリスト教系学校のチャペルにおいてである。一人のアメリカ人の教師がヨハネによる福音書一五章の「イエスはまことのぶどうの木」からメッセージをされ、特に七節のみ言葉が私の心に印象深くとどまった。その先生は、学生たちの救いのために熱心に祈られた。先生はアメリカのナザレン教会から派遣された宣教師であり、神学校教授であった。先生は私の信仰の道備えをしてくださっただけでなく、以後もいろいろと覚えて祈ってくださった。現在、九〇歳を超えてかなり弱くなられたが、ご夫妻は今も、祈りの言葉を添えてクリスマスカードを送ってくださる。

私は何度かチャペルに出席したが、やがて信仰に導かれ、教会につながることになるとは全く想像さえしなかった。だが、主は私に働いてくださった。宣教師の導きのもとに聖書に触れて求道生活が始まり、旭川ナザレン教会において開拓伝道をしていた牧師のもとで洗礼と教会生活へと導かれ、そして新しく赴任してこられた牧師のもとで献身を決意するに至った。日本ナザレン神学校では、牧師・伝道者たる者にとって神学することの重要さを学んだ。東京神学大学では、特に聖書神学と組織神学を学ぶ機会が与えられた。ここで聖書神学を選び、旧約聖書神学を専攻するに至った。神学校を卒業して伝道者として遣わされてからも、多くの方々から学ばせていただき、今日に至っている。四〇年近い牧会伝道を振り返ってみると、それぞれの相応しい時期に、恩師の方々の影響を受けてきたことがよく分かる。数年前まで日本ナザレン神学校の教授の一人としても責任を負ってきた。後継者の養成は、教団発展の生命線に関わる事業であると痛切に思う。

かつては宣教の対象、福音の恵みを受ける側に置かれていた者が、今や遣わされて、福音のために労する者、受けた恵みを与える者とされている。何という光栄であろうか。福音を受ける側も、福音のために労する側も、共に福音に与かる機会となるのである（一コリ九・二三）。これは伝道者にとって大きな恵みであり、また特権であると思うとき、感謝にたえない。

私の属する教団は、二〇〇七年三月、「日本ナザレン教団宣教一〇〇周年記念京都大会」を開催し、宣教一〇〇周年を記念した。私は現在、「日本ナザレン教団一〇〇年史」の編纂委員の一人として作業に携わっている。そして、日本プロテスタント宣教一五〇周年記念の実行委員として派遣されている。このことは私にとっては、日本ナザレン教団の宣教一〇〇年史の歴史的検証を、日本プロテスタント宣教一五〇周年記念という歴史的視点からも検証する機会になる、と考えている。

二〇〇九年には日本プロテスタント宣教一五〇周年を迎える。このため、日本プロテスタント宣教一五〇周年記念実行委員会には、諸教団・教派、宣教・協力・福祉・企業の諸団体、学校・教育団体などの代表者の方々が出席されて、七月八、九日に横浜市のパシフィコ横浜で記念大会を開催する予定で準備を進めている。「宣教一〇〇年記念大会」（一九五九年）のときの実行委員会はNCC系が中心であった。このたびの日本プロテスタント宣教一五〇周年記念の実行委員会は、NCC系と福音派系と聖霊派系が一緒に協力して一堂に会する、意義深い、歴史的な記念大会を立ち上げようとしている。

カトリックの日本宣教は一六世紀に開始されたが、プロテスタントの宣教師たちは、一五〇年前に日本において初めて宣教を開始した。私たちは、日本プロテスタント宣教一五〇周年記念大会の開催を通して、五港の開港と明治維新という激動の時代転換において福音の宣教が開始され、今日に至るまで教会形成がなされてきたことを回顧し、検証し、また今日の宣教に対して共通認識を持ち、宣教の使命を共有して、一人でも多くの人が救われるために日本宣教に一致協力していく機会になるように大いに期待し祈っている。

日本宣教の長い歴史を持つ教団・教派・団体もあるし、戦後創立された教団・教派・団体も多くある。その歴史の違いを超えて、各教団・教派・団体等がそれぞれ、日本プロテスタント宣教一五〇周年記念に共に与かるために準備を進めている。それは、日本プロテスタント宣教一五〇周年の歴史を共有し、現在と将来の宣教において、「父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください」（ヨハネ一七・二一）との主イエスの祈りと献身に支えられて、「キリストにあってひとつ」になるように一致協力して遣わされていくためである。この新しい歴史的行為がプロテスタントの諸団体に宣教へのうねりとなり、新しいビジョンを与えることを信じてやまない。

頓所 正（とんしょ ただし）
日本ナザレン教団越谷教会牧師

誰でも 聴いて読める

ギリシア語聖書

新共同訳―ギリシア語　インターリニア新約聖書

「誰でも聴いて読める ギリシア語聖書～新共同訳―ギリシア語 インターリニア新約聖書～」は、みことばを原語で耳から味わうことができ、入門者の方の学習にも役立つ画期的なパソコンソフトです。

Windows対応パソコンソフト

好評発売中

定価 21,000円（税込）

●付録
A Concise Greek-English Dictionary of New Testament(簡易版)

［動作環境］
OS: Microsoft Windows 98/Me/NT4.0(SP6a以上)/2000/XP/Vista
CPU: Pentium III 500MHz以上（Pentium III 1GHz以上推奨）
メモリ: 192MB以上（512MB以上推奨）
ハードディスク: 300MB以上の空き容量
周辺機器: CD-ROMドライブ
画面解像度: 800×600以上（1024×768以上推奨）
Microsoft Internet Explorer 6.0以上及びインターネット環境

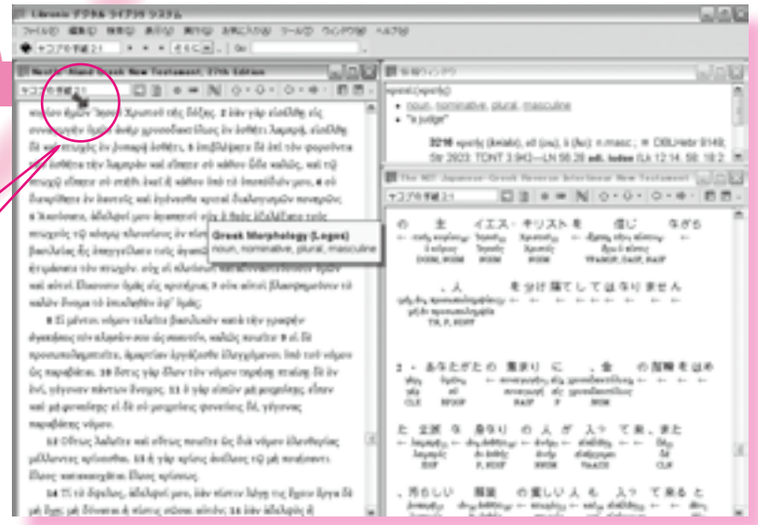
製品の特長

1. **ギリシア語オーディオ聖書**
   ギリシア語聖書本文の朗読音声に合わせて、その個所を矢印が移動して表示します。
2. **日本語―ギリシア語インターリニア聖書**
   日本語（新共同訳）本文の下に、対応するギリシア語とその文法事項が表示されます。
3. **情報ウィンドウ**
   ギリシア語の意味と文法情報が情報ウィンドウに表示されます。
4. **拡張性**
   ソフトのエンジンはロゴス社の書籍閲覧ソフトLibronixDLSです。ロゴス社より数百もの聖書や辞書、注解書などのデジタル書籍をダウンロード（有料）して、閲覧と検索が可能です。

●収録聖書

ギリシア語新約聖書ネストレ第27版
七十人訳ギリシア語聖書
新共同訳聖書　旧約聖書続編つき
New International Version (NIV)
Today's English Version (TEV)
欽定訳聖書 (KJV)

ギリシア語オーディオ聖書



オーディオ聖書のメニューバーに聖書個所を入力し、再生ボタンを押すと、矢印が表れて動き始め、その矢印の個所が朗読されていきます。

『日ギ　インターリニア聖書』のウィンドウをクリックすると、ギリシア語に対応する日本語の上を矢印が動いていきます。

オーディオ聖書の発音は古典ギリシア語（エラスムス）方式を採用

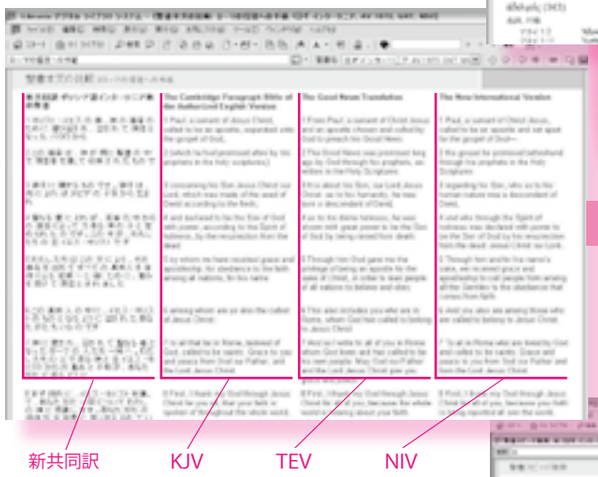
単語の情報

ギリシア語の単語にカーソルをあてると、ポップアップウィンドウにその単語の文法事項が表示されます。また情報ウィンドウが開かれていると、簡単な英訳が表示されます。

語句研究

ギリシア語の単語を選んで「語句研究」を実行すると、その単語が新共同訳でどのように訳されているのか一覧表示されます。訳語を選択すると、その前後の聖句が表示されます。

聖書の比較



インストールされている聖書を並列表示して比較することができます。

語句検索

聖書スピード検索画面から、選択している聖書全体の語句検索を行うことができます。

『日ギ インターリニア聖書』で「命」を検索したところ292の聖書個所が即座に表示されました。

JBS 情報

教会の幅広いご協力を求めて

昨年12月5日に、日本聖書協会評議員・監事が新たに選出されました。今回、新たなメンバーとして評議員になられた3名の方々と、監事になられた1名の方をご紹介いたします。

新評議員
湊　晶子
みなと　あきこ

1932年生まれ
東京都在住
東京女子大学学長
日本私立大学連盟常務理事

新評議員
飯島 節子
いいじま　せつこ

1942年生まれ
神奈川県在住
捜真学院学院長
青山学院評議員

新評議員
ウェイン・ジャンセン

1961年生まれ
東京都在住
東京神学大学准教授

新監事
大野 克美
おおの　かつみ

1947年生まれ
群馬県在住
株式会社日進館
万座温泉ホテル代表取締役社長
東南アジア文化友好協会理事長

任期：2009年1月～2010年12月

日本聖書協会は、新たな時代を迎えてさまざまな課題を前にしており、多くの皆様のご協力を必要としております。今後も理事、評議員、監事、そして事務局一丸となり、働きを進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

聖書と音楽の出会い

香川
日時：2009年3月21日（土）
午後1時半～ 3時半
（開場1時）
会場：香川県社会福祉総合センター
コミュニティーホール
出演：ジョン･チャヌ氏
（ヴァイオリニスト）

宇都宮
日時：2009年4月25日（土）
午後1時半～ 3時半
（開場1時）
会場：栃木県総合文化センター
サブホール
出演：ジョン･チャヌ氏

時間等は変更になることもありますので、詳しくは広報部（TEL 03-3567-1988　メール：info@bible.or.jp）へお問い合わせくださるか、ホームページ（http://www.bible.or.jp/）のイベント情報をご覧ください。

千葉
日時：2009年5月29日（金）
午後6時30分～ 8時30分（開場6時）
会場：京葉銀行文化プラザ　音楽ホール
出演：久米小百合氏
（教会音楽家、聖書協会親善大使）他

福井
日時：2009年6月20日（土）
午後1時半～ 3時半（開場1時）
会場：福井県国際交流会館　多目的ホール
出演：久米小百合氏

聖書と音楽の出会い

Bible Guide

みんなの聖書 絵本シリーズ 刊行予定

みんなの聖書
毎月発売
絵本シリーズ
2008年4月～2011年3月
定価各巻1,000円（税込）
全36巻
読み聞かせがますます楽しく。

2年目発行予定（2009年4月～2010年3月）

太字は旧約、細字は新約です

- ⑬ **4月　ノアのはこぶね**
  大洪水です！ノアは家族や動物たちと箱舟に乗り込みます。
- ⑭ 5月　わたしについてきなさい　～イエスさまと弟子たち～
  イエスさまは12 人の弟子を選びます。弟子の召命と主の祈り。
- ⑮ **6月　天のかいだん　～ヤコブものがたり～**
  ヤコブとエサウは双子の兄弟。けれども2 人は仲が悪くて…。
- ⑯ 7月　五つのパンと二ひきの魚
  パンが五つと魚が二匹。おおぜいの人を前にイエスさまは…。
- ⑰ **8月　魚にのみこまれたヨナ**
  バクリ！ヨナは大きな魚に飲み込まれてしまいます。
- ⑱ 9月　まよえる小羊
  迷子になった小羊も、家を出て行った放蕩息子も。
- ⑲ **10月　ハンナの祈りと少年サムエル**
  ある晩、サムエルがたった一人で神さまの宮で寝ていると…。
- ⑳ 11月　荒野（あらの）のゆうわく
  荒野にいるイエスさまのところに、悪魔がやって来て…。
- ㉑ 12月　天使の知らせ　～クリスマス（2）～
  マリアの前に天使が現れて、驚くべき知らせを伝えます。
- ㉒ **1月　マントをひるがえして　～預言者エリヤ～**
  神さまを大事にしないアハブ王に、エリヤが立ち向かいます。
- ㉓ **2月　エステル　～勇気あるおきさきさま～**
  大臣ハマンが悪だくみ！そこで王妃エステルは…。
- ㉔ 3月　ペトロのやくそく
  「私を愛していますか？」イエスさまと一番弟子ペトロの物語。

既刊（1年目刊行分）

- ❶ **せかいのはじまり**
- ② 少年イエスと洗礼者ヨハネ
- ❸ **アブラハムものがたり　～やくそくをしんじて～**
- ④ カナのけっこんしき　～お母さんのしんぱい～
- ❺ **サムソンのひみつ　～力もちなのはなぜ～**
- ⑥ よきサマリア人　～しんせつなきらわれもの～
- ❼ **ギデオンのつのぶえ**
- ⑧ マルタとマリア
- ⑨ 星にみちびかれて　～クリスマス（1）～
- ❿ **ダビデとゴリアト**
- ⓫ **ダニエルのなぞとき**
- ⑫ 十字架の道

音筆対応

「音筆（おんぴつ）」にも対応

絵本シリーズ発売開始と同時に、初年度 12 巻分の音声データを内蔵した音筆も発売いたしました。「音筆」で絵本の見開き番号にタッチするだけで、そのページの朗読をクリアな音声で聴くことができます。まだ文字を読むことのできないお子さまが、ひとりでも絵本聖書を楽しめます。2 年目以降はデータを差し替えることでご利用いただけます。

朗読：久米小百合さん
（教会音楽家・日本聖書協会親善大使）

定価：15,750 円（税込）

音筆についての情報は日本聖書協会のホームページをご覧ください。

http://www.bible.or.jp/onpitsu/

絵本聖書対応音筆をお持ちの方に、2 年目（2009 年4月～2010 年3月分）の音筆データを無料で追加します。お持ちの音筆付属のSDカードを、日本聖書協会・頒布部宛お送りください。折り返し新しい音筆データを追加してお届けします。

出版予告

3月上旬発売予定！

『ユダヤ人の知恵 ～成功への道～』

旧約聖書「箴言」、「コヘレトの言葉」の新共同訳本文とともに、全てのページにユダヤの豆知識を掲載。混迷深まる現代を生き抜くビジネスマン必読の一冊です。

A6判、上製、130頁　定価1,260円（税込）

写真は製作途中のものであり、実際のものとは異なります。

2009年はプロテスタント 宣教150周年です

キリストにあってひとつ ー主イエスの証し人(あかびと)としてー

二つの目的

- 2008年から2009年にかけて、各教会、各学校、各団体で行われる行事、集会を日本プロテスタント宣教150周年記念行事と位置づけ、同じロゴマーク、同じ標語で、同じ祈りの中に賛同していただき、共に連帯しあう。
- 2009年7月8日及び9日にパシフィコ横浜にて、日本プロテスタント宣教150周年記念大会を開催し、日本プロテスタント宣教史の一里塚とする。

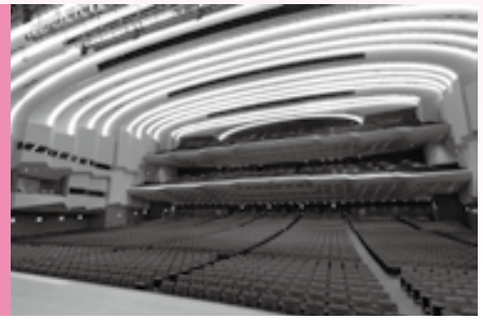
祈りの課題

1. 日本プロテスタント宣教150周年記念行事のために
2. 教派を超えて「キリストにあってひとつ」になれるように
3. これからの日本宣教のために

2009年7月8日㊌9日㊍

日本プロテスタント 宣教150周年 記念大会

The 150th anniversary of Protestant missions in Japan



事前登録制

記念大会の参加は登録費が必要となります。2月末頃より、賛同教会、団体、賛同者に申込案内を送らせていただきます。すべて賛同団体、賛同者を通じてのお申し込みとなります。詳細は申込案内をご覧ください。

登録費

- ◆ 7月8、9日全参加 3,000円
- ◆ A券 7月8日プレイベント／開会式
- ◆ B券 7月9日150周年記念式典
- ◆ C券 7月9日パネルディスカッション(または分科会)派遣礼拝

A～C券 各1,000円

記念晩餐会は上記記念大会の事前登録とは別に申し込み（会費についてはお問い合わせください）が必要となります。

記念晩餐会プログラム

	7／7（火）
18:30	〈記念晩餐会〉グランドプリンスホテル赤坂（東京・900人会費制）
20:45	

会場：パシフィコ横浜国立大ホール【5,000人収容】

- 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1
- 交通案内 TEL 045-221-2166
- 総合案内 TEL 045-221-2155

アクセス

- みなとみらい線 みなとみらい駅より徒歩3分
- JR根岸線・市営地下鉄 桜木町駅より徒歩12分
- 横浜駅東口またはYCATよりタクシー 7分、シーバス(船)10分

分科会テーマ（予定）

- キリスト教教育
- 信徒伝道
- 福祉と伝道
- 海外宣教
- 次世代への伝道
- 神学の歩み
- ビジネス伝道
- 文書伝道
- メディアと宣教
- 音楽と宣教

など

記念式典プログラム

	7／8（水）	7／9（木）	
		150周年記念式典	10:00 11:30
		パネルディスカッション 分科会	13:30 15:10
		派遣礼拝	16:00 17:10
17:00	プレイベント	集会の時間は変更になる可能性があります。	
21:00	開会式		

賛同のお申し込み受付中

日本プロテスタント宣教150周年

記念シールを使って お祝いしよう

カラー 53918 ¥500（税込）

緑 53920 ¥500（税込）

無料グッズのご案内

150周年を記念したポスターと、しおりもあります。 無料

1教会・団体 ポスター 2枚 / しおり 50枚まで

ポスター、しおり、記念シールは全国のキリスト教書店で扱っています。

★シールの購入代金の一部は、記念大会の献金とさせていただきます。

2009年 協賛団体関連行事

4月14-15日	神戸ラブ・ソナタ
5月4-6日	「祈りの祭典」国際大会 International Prayer Convocation（名古屋）
6月1日又は2日	日本福音同盟 第24回総会 特別講演会
6月18日	セブンスデー・アドベンチスト教団 ミッションデー記念集会
6月24日	日本基督教団 創立記念礼拝
7月7日	日本プロテスタント宣教150周年記念晩餐会
7月8-9日	**日本プロテスタント宣教150周年記念大会**
7月27日	国際基督教大学出身伝道教職者の集い
8月3-31日	東海道53次 Walk with Jesus（総動員伝道）
8月9日	宣教150周年を覚えて記念礼拝を持ち、祈りましょう。（日本最初のプロテスタント礼拝が行われた8月7日に一番近い聖日）サンデー・アデラジャセミナー（CEOJapan、インターナショナルVIPクラブ主催）
9月20-22日	日本プロテスタント宣教150周年記念フェスティバル in 関西（神戸）
9月21-24日	第5回日本伝道会議
9月22日	サンデー・アデラジャ聖会(東京)
9月23日	日本聖公会宣教150周年記念礼拝
10-11月	日本基督教団 特別講演会
10月12-13日	日本プロテスタント宣教150周年フェスティバル（関東宣教協力会・東京）
10月24-25日	第6回首都圏キリスト教大会（首都圏キリスト教大会実行委員会）
11月22-23日	日本基督教団 日本伝道150周年信徒大会・記念式典
11月23日	日本プロテスタント宣教150周年フェスティバル in九州（福岡）

＊上記以外にも様々な行事が150周年記念イベントとして計画されています。各行事につきましては各主催者にお問い合わせください。

賛同
教団・教派（42）／団体・企業（52）／学校（42）
教会（303）／合計439 2009年2月16日現在

http://www.protestant150.org 情報を随時更新いたしますのでご参照ください

主催：日本プロテスタント宣教150周年記念実行委員会

＜事務局＞ 〒104-0061 東京都中央区銀座4-5-1 （財）日本聖書協会内 電話03-3562-8725
E-メール protestant150thanniv@bible.or.jp
＜献金先＞ ■ 郵便振替口座 00170-7-707447 ■ 銀行口座 三菱東京UFJ銀行 三宮支店（店番462）3012021
＜口座名義＞ 日本プロテスタント宣教150周年記念事務局 日本聖書協会内

聞こえない方の心に福音が響きますように

手話訳聖書支援パートナーを求めています

共に手話訳聖書の完成を目指しましょう！

生まれて初めに覚え、日常使う言語を「母語」と言いますが、日本で生まれ育ちながら、いまだに母語の聖書を持たない方々がおられるのをご存じでしょうか。生まれつき耳の聞こえない方、あるいは幼児期に聴力を失った方の多くは、「手話」を母語にされています。これらの方々にとって日本語は、「聞く」という経験のないまま学習して覚える第二言語なのです。手話を母語とされている方々には「手話の聖書」が必要です。手話訳聖書が一日も早く完成するように、パートナーとなってお祈りとご支援をいただけますようにお願い申し上げます。

★1口10,000円の年会費で完成までお支えいただきます。

旧・新約全巻の手話訳は15年にもわたる大事業であり、世界のどこでもまだ達成されていません。完成のために継続的なご支援をぜひお願いいたします。

★パートナー様には手話訳聖書DVDをお届けいたします。

お申し込み時には、既刊の手話訳聖書全13巻をプレゼント。そして今後、新しい手話訳聖書DVD発刊のたびに、2枚を無料でお届けいたします。どうぞ手話研究に、手話の礼拝・集会にご活用くださり、ご意見をお聞かせください。

手話訳DVD

手話訳ビデオ

現在までに発刊された『手話訳聖書』

すでに10書13巻が完成し、頒布されています。

- 創世記1～15章
- 創世記16～22章
- 創世記23～28章
- 創世記29～35章
- 創世記36～42章
- ヨナ書、ルツ記
- マルコによる福音書
- 使徒言行録 1～14章
- 使徒言行録 15～28章
- ガラテヤの信徒への手紙
- フィリピの信徒への手紙
- テサロニケの信徒への手紙 一・二
- ヤコブの手紙

★皆様のお支えによりDVD・ビデオ共に1巻100円にて頒布されています。

JAPAN BIBLE SOCIETY

財団法人 **日本聖書協会** 募金部

パートナーお申し込みには、綴じ込みの申込用紙をご活用ください。

〒104-0061 東京都中央区銀座4-5-1
TEL 03-3567-1980 **FAX** 03-3567-4436

郵便振替 00160-2-18410
銀行振込 三井住友銀行 京橋支店（普）6552744
口座名： ㈶日本聖書協会

ホームページからもお申し込みいただけます。

アドレス▶ **http://www.bible.or.jp/collection/col02.html**

Sign language translation Bible

編集後記

ヘボン、ブラウン、ゴーブルが最初に住居とした神奈川の成仏寺。ここから京浜急行を挟んで北側には、開国当時フランス領事館の置かれた慶運寺があります。近くの滝の川を渡ると浄滝寺（旧イギリス領事館）と、シモンズが滞在し、ヘボンが施療所を開いた宗興寺、さらに一五分ほど横浜方面へ歩き、国道一号を渡ると、ヘボンが生麦事件の負傷者の治療にあたった本覚寺（旧アメリカ領事館）があります。

異国文化の香りがする賑やかな横浜の山下町や中華街とは趣が異なり、辺りは人通りも少なく静かな空気に包まれています。この機会に神奈川宿の史跡を訪ね、古き時代に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

超教派の実行委員会によるプロテスタント宣教一五〇周年記念大会は、七月の本番に向けていよいよ本格的に準備が進められています。ぜひお祈りください。

この機会を通じ、ぜひ国内に新たな宣教のうねりが起こされることを願いつつ。

◆訂正とお詫び

前号八頁に掲載した聖書セミナー「聖書と哲学」の執筆者、春名純人先生のお役職に誤りがございました。正しくは「関西学院大学名誉教授」です。

全国発送分は訂正紙を挟み込み、在庫分についてはシール対応で訂正をいたしました。ご執筆いただきました春名先生をはじめ、ご関係の皆様方にご迷惑をおかけして誠に申し訳ございませんでした。